

# ESSENTIAL OHNO

大野一雄・慶人 舞踏の必然

## BUTOH 舞踏

舞踏 ひびきみか

出演 大野 圭子

2023年12月3日(日) 17:00Start (16:00open)

2500円 (1drink)

artspace & café

〒326-0814 栃木県足利市通2丁目 2658

Tel : 0284-82-9172

E-Mail : info@artspace-and-cafe.com

URL : <http://artspace-and-cafe-ashikaga.com/>



## Essential Ohno (エッセンシャル大野) とは・・・

第二次世界大戦後、日本が高度経済成長期を迎え、学生運動の兆候が現れ始めた1958年、舞踏の創始者土方巽（ひじかたつみ）が大野慶人を相手役に三島由紀夫の小説「禁色」を題材にした15分ほどの身体表現を発表しました。舞踏という表現はここから始まりました。当時の舞踊界の常識を覆したテーマや身体を用いたその表現手法は、多くの芸術家、音楽家、文学者を巻き込み、舞踏という新しいジャンルを築いていきます。その後1977年東京第一生命ホールにおいて大野一雄舞踏公演「アルヘンチーナ頌」が初演されました。大野一雄は71歳にして50年前に観たスペイン舞踊の舞姫アルヘンチーナを称えるためのこの作品を創作した事が契機となり、次男大野慶人と共にその後14年間世界を巡演、舞踏は世界の舞踊界においても革命的な発露となり、海外ではBUTOHとして確固たる地位を確立しました。横浜に在る大野一雄舞踏研究所には、2020年大野慶人が亡くなるまで、欧米・アジア・オセアニア・アフリカなど世界60か国以上の舞踊家が稽古に訪れました。今回の舞台は大野一雄・慶人が遺した身体表現（舞踏の必然）を紐解き「エッセンシャル大野」と題し、身体（ひびきみか）と言語表現（大野圭子）による創作舞台です。

「本質を持っている踊りは、人種を超えて世界のどこに行っても伝わるものなんだ」

（大野慶人）

### 大野圭子

舞踏家大野一雄の次男である舞踏家大野慶人の次女。大野慶人の晩年8年間の国内外の活動アシスタントを務め、現在その全ての稽古・公演・講演・インタビューの記録をもとにして父である大野慶人の研究に勤んでいる。

### ひびきみか

プロ競技ダンスにおいて2年連続全日本チャンピオン、3年連続全日本ショーダンスチャンピオン。舞踏家大野一雄・慶人との出会いを機に舞台芸術活動に転向キューバ国立民族舞踊団で民族ダンスを学び、舞踏身体と根底でつながる独自の身体メソッドを確立。2018年よりノルウェーグルソムヘテン劇団の招聘により今日まで4作品に出演。アントナン・アルトーの演劇理論の舞台表現に精力的に取り組んでいる